

里山整備や自然観察会等を通じた里山保全・保護活動

発表者 押田正雄、山家公夫

I 団体名 里山の会 ECOMO

- (1) 設立年月日 : 平成 15 年 6 月 21 日
- (2) 構 成 人 数 : 正会員 24 人、準会員 14 人、賛助会員 7 人
- (3) 活 動 拠 点 : 滝まなびの森、本埜小学校及び白鳥飛来地周辺

II 活動目的

活動の目的は、里山保全と里山に親しむ活動を通して、広く自然保護の精神を広め、かけがえのない里山等の身近な自然を次世代に引き継ぐことにある。あわせて、本会の活動が地域の人々の心豊かで健康的な生活に寄与することを願っている。

III 今年度に計画した事業活動の具体的内容

(1) 里山保全の活動 (まなびの森、ホタル観察地)

①まなびの森の下草刈り、倒木等の撤去

4月9日、11月11日、25日、12月9日、23日 29人
予定日: 1月13日、2月10日(チップ作業)、24日

②ホタル観察地の清掃、観察路の整備

7月2日(日) 10月8日、22日、29日 11月19日 35人
予定日: 1月21日、28日、2月18日

(2) 自然観察会 (*本埜公民館との共催行事)

- ① 春の里山観察会 4月9日(土) 9人
- *② ホタル観察会 7月8日(土) 24人
- *③ トンボと蝶の観察会 7月15日(土) 21人
- ④ キノコ観察会 10月7日(土) 8人
- *⑤ 秋の里山観察会 11月4日(土) 12人
- ⑥ 冬鳥の観察会 12月2日(土) 4人

(3) 学習会

- ① タケノコ狩りと山菜調理等 6月4日(日) 11人
- ② ミニ草履づくり 予定: 1月27日(土)
- ③ ホダギづくり 準備: 11月22日、予定: 2月3日(土)

(4) 生物調査

- ① 秋の鳴く虫観察・調査(クツワムシ等) 9月16日(土) 5人
- ② ニホンアカガエルの卵塊調査 予定: 2月中旬から3月中旬

(5) その他

①自然観察会等の里山学習の講師支援

本埜小学校 3、4年生、(5/22、7/19、11/9)

本埜中学校生物部 (6/28、7/7、19、24、27、8/1)

②「体験田んぼ」実践支援

本埜小学校 5年生 (5/10、7/14、9/27)、本埜中学校生物部 (5/5、26、10/8)

IV 結果および考察

(1) 里山保全の活動

- ・整備活動の継続でヤマユリ、フデリンドウ、キンランが安定的に生育している。
- ・散歩やジョギングをする人など里山を身近に感じる人が増えてきている。
- ・小・中学生や他団体が里山を学習の場所として活用している。
- ・荒れた竹林の整備を始め、きれいになりつつある。
- ・整備する人数が限られている。高齢化も進んでいる。
- ・ナラ枯れ被害が多く発生しており、撤去作業を行った。

(2) 自然観察会

- ・講師のお陰で参加者は里山自然を五感で触れ楽しむことができている。
- ・公民館改修工事で公民館共催行事としての開催ではなく会として開催した。
- ・観察会の講師を務める会員が出てきた。更に講師を増やしていきたい。
- ・参加者を増やすことが課題、身近な自然を愛し大事にする人を増やしたい。

(3) 学習会

- ・キノコ栽培は猛暑の影響があったがアラゲキクラゲを収穫できた。
- ・タケノコ狩りと山菜調理等、親睦も深める機会となった。
- ・今年度はミニ草履づくりの学習会を1月に予定している。

(4) 生物調査

- ・クツワムシは、近隣の宅地造成の影響で心配であったが生息が確認できた。
- ・アカガエルの卵塊調査は、モニタリング1000（環境省）として継続調査する。

V 今後の活動方針

(1) 里山保全の活動

- ・枯れ枝の撤去等、軽作業を多く取り入れ、沢山の人達の参加を呼びかけたい。
- ・竜腹寺地区の人々がホテル観察地をイノシシ撲滅の助成事業として整備して下さっている。今後も地元の方々の協力を得ながら活動していきたい。
- ・会員の高齢化が進んでいるので、あまり無理せず、楽しく進めたい。
- ・ナラ枯れ被害木の撤去作業が今後の大きな課題である。

(2) 自然観察会

- ・五感で里山自然を感じ取れるように更に工夫する。
- ・参加者が増えるように呼びかけ方や内容を改善する。
- ・自然に親しむ遊びを取り入れることや夜の観察会の魅力を増やす。
- ・会員も講師になれるように研鑽を継続する。

(3) 学習会

- ・会員を対象とした工作教室（わら・竹細工等）、里山の恵みを使った料理教室等継続しておこなう。
- ・雨天中止時の学習会を検討する。
- ・里山整備作業時に、刈り払い機やチェーンソー等の実習機会も設ける。

(4) その他

- ・印西市立本埜小・中学校の児童や生徒の「体験田んぼ」に継続して協力する。
- ・ホテル観察場所では、他団体が行っている「体験田んぼ」へ継続して協力する。
- ・秋の鳴く虫（クツワムシ）調査、アカガエル卵塊調査の継続実施
- ・まなびの森の広場で親睦会（里山整備作業時のティータイム等）を開催する。